

心理検査用具

本校にある心理検査用具をご紹介します。

貸し出し等のお問い合わせは、北海道白糠養護学校（電話：０１５４７－２－５３５３）までお願いいたします。

【知能検査】

検査名	内容
WISC-Ⅲ知能検査 	○ 児童・生徒を対象としたウェクスラー式知能検査。包括的な一般知能を、言語性、動作性、全検査の３種類のIQによって測定。因子分析から得られた４つの群指数（言語理解、知覚統合、注意記憶、処理速度）により、子どもの発達の特徴をより多面的に把握できる。知的発達の状態を評価点プロフィールで表示することで、「個人内差」という観点から発達を捉える。 ○ 適用範囲：５歳０ヶ月～１６歳１１ヶ月 ○ 所要時間：６０～７０分
K-ABC心理・教育アセスメントバッテリー 	○ 子どもの知的活動を、知能（認知処理過程）と習得度（知識・技能）に分けて測定。認知過程を継次処理と同時処理から評価し、得意な学習スタイルを見つける。 ○ 適用範囲：２歳６ヶ月～１２歳１１ヶ月 ○ 所要時間：３０～６０分
田中ビネー知能検査Ⅴ 	○ 知的発達の遅滞をトータルに捉える。一般知能を測定しているという特徴から、被検査者の基礎的な能力を把握することに優れている。成人知能を分析的に測定。 ○ 適用範囲：２歳～成人 ○ 所要時間：３０～６０分
ピクチャ・ブロック知能検査（PBT）	○ 絵画・積み木を材料とした検査。表出言語に頼らず、動作性検査（絵画完成と積み木）で実施。 ○ 適用範囲：４歳～７歳（知的障害のある子どもには９歳まで） ○ 所要時間：３０～４０分
大脳式精薄児用知能検査 	○ 測定困難な低い精神年齢にも適する動作式テスト。テストの仕方および結果の判定が簡単で容易。被験者の言葉がなくても測定でき、短時間で実施できる。 ○ 適用範囲：精神年齢１歳１０ヶ月～６歳
マッカーシー知能発達検査	○ 「言語」「知覚-遂行」「数量」「一般知能」「記憶」「運動」６つの領域で検査。 ○ 適用範囲：２歳６ヵ月～８歳６ヵ月

【認知に関する検査】

検査名	内容
D N - C A S 認知評価システム 	○ 認知機能を評価する検査。「プランニング」「注意」「同時処理」「継次処理」の4つの認知機能領域（P A S S）を測定。LDやADHD、高機能自閉症などの子どもの認知的偏りを捉えることができる。 ○ 適用範囲：5歳0ヶ月～17歳11ヶ月 ○ 所要時間：40～60分
N C プログラム（認知・言語促進プログラム） 	○ 発達の評価とその評価結果に従って行う指導の方法がセットになっている。発達領域を「視覚操作」「言語」「記銘」「文字」「数」「運動」の6つの領域とさらに細分化した10の下位領域としている。 ○ 適用範囲：発達年齢6ヶ月～6歳

【発達検査】

検査名	内容
遠城寺式乳幼児分析的発達検査 	○ 乳幼児の発達を、「運動」「社会性」「言語」の分野ごとに6つの領域（移動運動、手の運動、基本的習慣、対人関係、発語、言語理解）について分析的に評価。発達上のおおよその様相を明らかにする。短時間に容易に実施できる検査。スクリーニング・テストとして有効。 ○ 適用範囲：0ヶ月～4歳8ヶ月 ○ 所要時間：15分
津守式乳幼児精神発達診断 	○ 保護者との面接や乳幼児の日常生活場面の観察に基づいて、運動、探索・操作、社会、食事・排泄・生活習慣、理解・言語の5つの領域で発達を診断。年齢に応じて3種類の質問用紙がある。 ○ 適用範囲：誕生～7歳 ○ 所要時間：20分
新版K式発達検査 2001	○ さまざまなタイプの障害をもつ児童に適用でき、その発達の様相を多面的に把握。「姿勢・運動」「認知・適応」「言語・社会」の3領域について、発達年齢（DA）、発達指数（DQ）を算出。 ○ 適用範囲：0歳3ヶ月～13歳未満 ○ 所要時間：30分

KIDS乳幼児発達 スケール 	○ 質問紙法であり、日常接している指導者や保護者が子どもの様子を思い起こしながら記入する。場所・時間の制限を受けず、どこでも短時間で行うことができる。「運動」「操作」「理解言語」「表出言語」「概念」「対子ども社会性」「対成人社会性」「しつけ」「食事」の9領域について発達を調べる。 ○ 適用範囲 ・タイプA 0歳1ヶ月～0歳11ヶ月 ・タイプB 1歳0ヶ月～2歳11ヶ月 ・タイプC 3歳0ヶ月～6歳11ヶ月 ・タイプT 0歳1ヶ月～6歳11ヶ月 ※障害があり、発達の個人内差が大きい場合はタイプTが有効である。遠城寺よりも細かくみることができる。 ○ 所要時間：10～15分
--	---

【言語発達に関する検査】

検査名	内容
ITPA言語学習能力診断検査 	○ 情報を受け取り、それを解釈し、他人に伝えるというコミュニケーション過程に必要な心理的機能を測定。全体的な発達のレベルを知るだけでなく、「個人内差」を測定するのが特徴。子どもの発達の様相を多面的に捉える。LD児やことばの発達の遅れをもつ子どもの診断と治療教育に力を発揮。 ○ 適用範囲：3歳0ヶ月～9歳11ヶ月 ○ 所要時間：60分
PVT-R 絵画語い 発達検査 	○ 言語の理解力のなかでも、とくに基本的な「語いの理解力」の発達度を短時間に測定。種々の心理検査を組み合わせでおこなう場合の導入検査として最適。 ○ 適用範囲：3歳0ヶ月～12歳3ヶ月 ○ 所要時間：15分

【社会性に関する検査】

検査名	内容
新版S-M社会生活 能力検査 	○ 社会生活に必要な能力を、身辺自立、移動、作業、意志交換、集団参加、自己統制の6つの領域に分け、発達度を測定。領域別に社会生活年齢（SA）と社会生活指数（SQ）が算出され、SAプロフィールを描くことで子どもの特徴がわかる。 ○ 適用範囲：乳幼児～中学生 ○ 所要時間：20分

【知覚・感覚・運動に関する検査】

検査名	内容
フロスティック視知覚発達検査（DTVP） 	○ 保育所、幼稚園、小学校低学年の子どもの視知覚上の問題点を発見し、適切な訓練をおこなうための検査。「視覚と運動の協応」「図形と素地」「形の恒常性」「空間における位置」「空間関係」の5つの視知覚技能を測定。問題行動、ろう、難聴、脳性小児まひ、知的障害、情緒障害、LDなどの子どもにも実施できる。個別、集団いずれの方法でも可。 ○ 適用範囲：4歳0ヶ月～7歳11ヶ月 ○ 所要時間：30～40分
MEPA-II 乳幼児と障害児の感覚運動発達アセスメント 	○ 乳幼児や障害児（者）のムーブメント教育の原理に基づいた感覚運動プログラムを作成するためのアセスメント。姿勢、移動、操作の3領域からなる感覚運動分野と、コミュニケーション分野で構成。 ○ 適用範囲：0ヶ月～18ヶ月
簡易上肢機能検査（STEF） 	○ 障害の種類を問わず、上肢の動作機能を評価。各種ブロックのつまみ、移動作業をおこない、腕や指先の動きの機能をチェック。結果が点数化され、簡単に短時間で検査ができる。 ○ 所要時間：20分

【LD・ADHDに関する検査】

検査名	内容
PRS LD児診断のためのスクリーニング・テスト 	○ LD児診断のためのテスト。「言語性LD」と「非言語性LD」が識別でき、子どもの特性を多面的に診断。 ○ 適用範囲：5歳～15歳 ○ 所要時間：3分

PREB学習レディネス診断検査 	○ 学習障害（幼）児を鑑別・診断および療育指導計画を立案するための検査。課題解決能力、認識能力、レディネス技能という3つの視点から、子どもの学習レディネス能力の強さと弱さを知ることができる。 ○ 適用範囲：3歳6ヵ月～7歳11ヵ月 ○ 所要時間：30～60分
---	---

【その他】

GMFM粗大運動能力尺度 	○ 脳性麻痺児の粗大運動能力に対する評価的尺度。脳性麻痺の子どもたちの運動機能レベルを、正常な発達基準と比較して評価するためのテストで、単に機能評価だけでなく、治療ゴールの設定、それに向けての進歩の度合いを知るうえで有効な方法である。臥位と寝返り、座位、四つ這いと膝立ち、立位、歩行とジャンプの5つの領域にわたって、運動能力を評価する。 ○ 適用範囲：脳性麻痺の小児（この範囲に限らず評価する場合もある） ○ 所要時間：45～60分
---	--